



きょうの紙面

木更津市補正/金田小中一体整備へ基本構想 2

長柄町補正/町道補修工や長柄中更衣室改修 2

「頼りなく若輩な理事長であるが、歴代理事長の知恵と力を借りることはもとより、組合員各位の協力を賜り、運営に当たらせて頂きたい」と言明。

さらに「小松前理事長と

議案審議終了後に市原新理事長は、急激に高騰する燃料やロシアによるウクライナへの軍事侵襲など、これまでになく厳しい状況下での理事長任命について

千葉県解体工事業協同組合(正会員44社)の第37回通常総会が24日、千葉市内のオークラ千葉ホテルで開かれ、2022年度(第38期)事業計画などを全会一致で可決。任期満了に伴う役員改選では、3期6年にわたり理事長を務めた小松隆弘氏が勇退。7代目の新理事長に、大同産業㈱代表取締役の市原照公氏を選出した。



市原新理事長



小松理事長

新理事長に市原氏 3期6年、小松理事長勇退

県解体工事業協組が総会

「新しい組合の船出を見据えた事業展開に加え、適

同様、各役所との連携を図り、信頼関係をさらに強固にしていきたい」と述べ、新理事長としての抱負とした。(2面に第38期事業計画及び新役員)

「先人の言葉の重みとその感動を糧に奮起し、解体工事業のさらなる発展に尽力

材適所の役員登用等により、多くの方々から『開かれた組合づくりができた』との言葉を頂き、何とか理事長の職責を全うできた」と総括した。

市原新理事長から小松理事長への花束贈呈



「頼りなく若輩な理事長であるが、歴代理事長の知恵と力を借りることはもとより、組合員各位の協力を賜り、運営に当たらせて頂きたい」と言明。

さらに、組合運営の適正化を目指した「身の丈に合った会計全般や各種事業の見直し」を実施。会員の負担とならない「透明性の高い組合経営」に取り組んだ。